

平成 25 年度第 2 回みんなで支える森林づくり上小地域会議議事録

平成 26 年 3 月 7 日(金) 10 時～
上小森林センター会議室

- 出席委員(敬称略) 上原栄子、菅沼久美子、田中雄介、矢ヶ崎雅哉、別府恒、
裕沢康博
- 欠席委員(敬称略) 加々美貴代、丸山輝人

開会宣言

上小地方事務所林務課長あいさつ

司 会

- ・配布資料の確認をする。
- ・当会議は公開である旨を伝える。

座長就任

- ・座長の丸山委員が所用により欠席のため、裕沢座長代理が座長に就任。

会議事項

座長(裕沢委員)

まず、会議事項(1)、平成 25 年度森林税活用事業の実績について事務局から説明をいただき、その後にご意見等をお願いしたい。

事務局

資料 1 (1-1 から 1-5) により「平成 25 年度の森林税活用事業実績」を説明

意見・質問特になし。

座 長

平成 25 年度事業については、事務局説明の内容を承知されたものとする。
次に会議事項(2)、「平成 26 年度森林税活用事業の計画」について説明をお願いしたい。

事務局

資料 2 (2-1 から 2-3) により説明

座 長

それでは、さきほどの説明に対してご意見などをお聞きしたい。特に森林づくり推進支援金事業・木育事業の実施については、皆様のご意見を伺うことになっているので、発言

をお願いしたい。

矢ヶ崎委員

海野町商店街の木製ベンチ（H25 信州の木活用モデル地域支援事業(以下、モデル地域支援事業という)）は良い事業である。今後も是非推進してほしい。この木製ベンチは破損した場合誰がメンテナンスするのか。

事務局

所有者の商店街である。1年に1回はペンキを塗るなどのメンテナンスをお願いしたい。

田中委員

木造の別荘などでもメンテナンスしないとすぐ風化劣化してしまう。せっかく作っても汚くなればイメージが逆転する。

座 長

木造施設(製品)に対するメンテナンスの補助制度はないか。

事務局

今のところ無いと思われる。

別府委員

平成25年度モデル地域支援事業の内、東御市分について詳しく説明してほしい。

事務局

「NPO 法人フォレスト工房もくり」が東御市と相談をして、松くい虫によるアカマツ被害材を使って製作したベンチ10基を、道の駅「雷電くるみの里」に設置した。ここはかなり多くの人があるのでPR効果は大きいと思う。

菅沼委員

海野町商店街でのモデル地域支援事業は大変良い。

木育事業の各学校への要望照会について、4・5月にチラシが配られても学校では届かない(様々な通知等がたくさん学校に届くため)。工夫が必要。写真などで目につくようにして木育事業などを周知してほしい。

田中委員

木育については、今後、1校でも多くの学校で実施してもらいたい。

上原委員

木工作のような木育の取組みはとても良いこと。今後も推進してほしい。

座 長

平成 26 年度の搬出支援はどこを予定しているか。

事務局

青木村で地元の炭焼きに使う材の搬出支援を予定している。

矢ヶ崎委員

フォレストコンダクター育成事業はどんな人を育成するのか。

事務局

林業士やグリーンマイスターなどと違い、地域林業の指揮者であり、中心的な人物を育成する。

田中委員

木材利用ポイントがまだ使われていない。もっとPRする必要がある。

別府委員

当方の組合でおてんま作業をしている。間伐も切りっ放しだと一銭にもならない。しかし搬出すると経費がかかる。どうすればよいか思案している。

事務局

いろんな補助制度があるので具体的に相談願いたい。

座 長

他に無ければ、平成 26 年度の森林づくり推進支援金事業及び木育事業については、良い内容であるので、説明の内容のとおり進めてもらいたい。

座 長

最後に会議事項（3）、「その他」について事務局から何かありますか。

事務局

来年度の当会議の開催予定は、年 2 回、10 月下旬から 11 月上旬にかけての頃と 3 月上旬を予定している。

座 長

他に無いようなので、これで全ての議事を終了する。

解散宣言 11:15